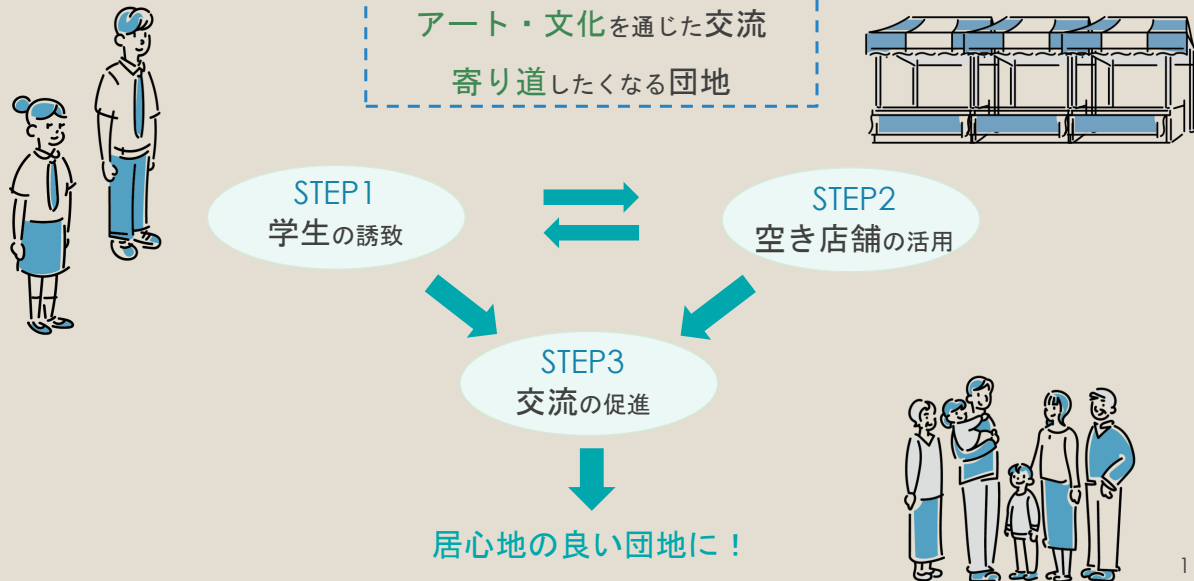


3. 提案の概要



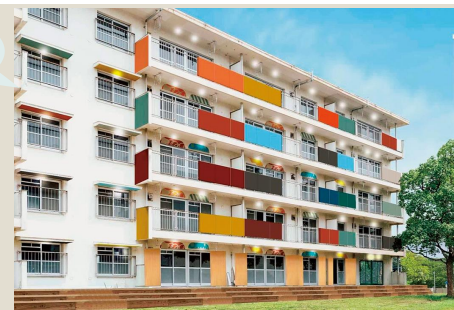
4. 提案内容

STEP1 学生の誘致

- ・空き家率の高い部屋
 - ・駅から距離がある
 - ・EVのない階段室の上階
- ・周辺の大学

低家賃で
学生向けに

デザインに
工夫



写真：日の里団地

https://www.ur-net.go.jp/aboutus/publication/web-upress63/danchi_saizensen.html

取り組み

- ・団地の魅力向上 (UR主体)
 - 外観壁面・ベランダの塗装
 - 付加価値 (リフォーム可能など)
- ・大学、駅との連携
 - 大学ホームページに情報を記載
 - 大学周辺の駅に広告を設置

学生の意見を
取り入れる

メリット

- ・学生と団地住人、双方の交流増加
- ・団地内の活気増加
- ・空き部屋の有効活用

4. 提案内容

STEP2 空き店舗の活用

1. アトリエ

対象：学生、美大生、卒業生

団地内の現役の学生は無償、
団地外の学生、卒業生は有償で利用



学生と共同で
空間設計

2. 休憩所

アトリエと併設した住民の休憩場所
一部を作品の展示スペースに



取り組み

- ・アトリエ、休憩所の整備 (UR主体)
 - 学生、住民の意見を取り入れる
- ・空き店舗活用の実現性
 - 管理：UR、住民、学生で共同
 - まずは実験的に運用開始
 - 話し合いながら空間を設計

メリット

- ・アトリエが学生、卒業生の交流の場に
- ・休憩所を通じた交流の促進

4. 提案内容

STEP3 交流の促進

STEP1, STEP2をふまえ、世代を超えた日常的な交流を

メリット

- ・高齢者の不便の解消
- ・団地内のコミュニティ形成
- ・団地としての魅力の創出
- ・豊かな暮らしへ

例)

・お使い制度

休憩所に黒板
簡単な連絡先と希望の日時を記入
→お使いor買い物同行
料金等の制度を確立 (利用性)

・ミニ映画館

スクリーンを設置し映画を上映
自由に鑑賞



・ミニ図書館

住民が好きに本を置く
読みたい人が読む



6. 将来像

○ 交流の促進の先に

日常的な交流のみならず、

イベントなどを通じた交流も

学生、もともと住む住民皆で運営する

例えば...夏祭り、団地独自のお祭り等

外へ出たくなる
寄り道したくなる団地へ

